

(iv)

- ④英語ポスター発表はすべて英語表記
- (3) 2部制で開催し在席時間は1時間。ポスターは9:30から12:00までに掲示を済ませ、翌日12:00まで展示。15:00以降に残っているポスターは撤去する。

テーマセッション講演募集

テーマセッションでの講演を申込みと、世話人が基調講演と一般講演をプログラム編成し、座長を選任し、充実した討論を通じて参加者相互の実りある情報交換の場を提供します。7月末に開催されるプログラム編成会議の前に、世話人に開催日、時間、座長、講演順番など、プログラム編成を依頼します。

テーマセッション1 「7000系アルミニウム合金の時効硬化挙動」 Age-hardening behavior of 7000 series aluminum alloys

趣 旨：

7000系アルミニウム合金の時効初期における析出過程については、2種類のGPゾーンの形成が報告されている。しかしながら、初期の組織と時効後期における析出物との対応関係については、いまだ不明な点が多く、二段時効や高温時効におけるGPゾーンの形成挙動についても十分には明らかになっていない。さらに近年の研究により、7000系アルミニウム合金では焼入れ速度を遅くした場合にお

いても、2000系や6000系合金と異なり時効硬化を生じ、水冷材に近い強度が得られることが明らかとなっている。「7000系アルミニウム合金の時効硬化挙動研究部会」では、そのメカニズム解明に向けて、種々の手法を用いて検討を行っている。また、7000系アルミニウム合金の耐SCC性に及ぼす時効条件の影響についても、メカニズムを含めた議論が必要とされている。本テーマセッションでは、本部会において得られた研究成果を報告するとともに、さまざまな議論を行う場として企画した。7000系アルミニウム合金の時効硬化挙動に関する講演を広く募集する。

世話人：成田 麻未（名古屋工業大学）、水野 正隆（大阪大学）、本間 智之（長岡技術科学大学）、安藤 哲也（室蘭工業大学）、吉田 英雄（超々ジュラルミン研究所）

軽金属奨学会「特別奨学生」セッション

第141回大会より、公益財団法人軽金属奨学会との共催により、軽金属奨学会「特別奨学生」セッションを定期的実施している。軽金属奨学会では、軽金属学術界の人材育成のため、軽金属に関する教育機関に在学する有為の学生に対し、研究に専念する時間を与え、創造性に富んだ研究者を育成することを目的に学費および研究費を交付している。本セッションでは特別奨学生の研究成果を発表するとともに、特別奨学生制度の紹介も行うので、軽金属学会会員、とりわけ、博士課程を目指す学生会員の聴講を期待する。

参加費の振込みについてお願い

事務局での入金確認のため、申込者ご本人以外、例えば、大学、企業等から参加費を銀行振込みされる場合は、必ず、①申込者名および申込受付No.、②振込日、③振込金額、をFax: 03-3538-0226 またはE-mail: shomu@jilm.or.jp にご連絡ください。ご協力を宜しく願います。